

菅の地域の方々に聞いてほしい

子どもがやる気になった！

「子どもをほめる」とは



みんなが幸せになるために

地域の寺子屋

当日のメニュー

- 1 寺子屋先生の体験談
- 2 ウェルビーイングとは
※裏面参照
- 3 みんなで楽しく語り合おう
(少人数のグループワーク)



2024

日時

1 / 20 土

10時～12時

参加無料

(受付開始 9:45)

会場：菅中学校体育館（菅城下28-1）

定員：50名（要申込、先着順）

申込方法 申込フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/fsV196ufD3tRGuKm6>



二次元コードを読み取り、代表者及び一緒に参加する方の氏名を明記してください。

連絡事項がある場合は、申込みのアドレスにお知らせします。

地域教育会議とは

問い合わせはメールでお願いします。

sugechu.tsudoi@gmail.com



「中学校区において、学校・家庭・地域社会の連携により、区内の子育てや生涯学習のネットワークづくりと、教育への市民参加システムづくりを行い、中学校区での教育力の向上を目指すことを目的とします。」

地域教育会議実施要項より抜粋

◎地域の様々な団体・機関・住民などが参加しています。

菅小・菅中学校、菅町会、菅子ども部会、菅小・菅中学校PTA、保護司、スポーツ推進委員、青少年指導員、民生委員児童委員、菅保育園、菅こども文化センター、住民委員

菅中学校区地域教育会議 議長 羽鳥 祥子
同「教育を語るつどい」委員会 委員長 花村 勝巳

【地域の寺子屋事業 「3つの目標」】

川崎市教育委員会資料抜粋

- 1 地域ぐるみで子ども達の学習や体験をサポートする仕組みづくり
- 2 シニア世代をはじめとする地域の様々な方の知識と経験を活かした、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくり
- 3 子ども達に豊かな学びや体験の機会を提供することによる学ぶ意欲の向上や豊かな人間性の形成

【地域の寺子屋「菅人」(すげんちゅ)の活動】

- 開 講 2019年3月
- 登録生徒 49名
- 登録先生 13名
- 実施場所 菅小学校図書室(学習支援)、体育館ほか(体験活動)
- 学習支援 3~6年生を対象に毎週水曜日の放課後に学習
- 体験活動 けんちく職人入門講座など
- 毎週40~45名の子ども参加と寺子屋先生9~12名で楽しく活動しています。

「ウェルビーイング」とは

- 直訳すると「幸福」「健康」という意味の「well-being (ウェルビーイング)」。幸せで、肉体的にも精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます。人の生き方全体に関わるキーワードですが、教育においても、世界的に非常に重視されている考え方です。
- 幸福学研究の第一人者である 慶應義塾大学大学院の前野隆司教授 によると「ウェルビーイング」を実践するためには、4つの因子が大事といわれています。

【心的要因 4つの因子】

- ・ 自己実現と成長 (やってみよう因子) 強み、主体性
 - ・ つながりと感謝 (ありがとう因子) 利他、多様性
 - ・ 前向きと楽観 (なんとかなる因子) チャレンジ精神
 - ・ 独立と自分らしさ (ありのままに因子) 自分軸
- 2023~2027年の教育の基本政策を定める教育振興基本計画でも、そうした対策の重要性が盛り込まれる予定です。

自分にとっての「ウェルビーイング」を考えるきっかけになりますように